

令和 3 年 度

芦屋市病院事業会計決算書

市立芦屋病院

目 次

I 決算書等

1	令和3年度芦屋市病院事業決算報告書	7
(1)	収益的収入及び支出	7
(2)	資本的収入及び支出	8
2	令和3年度芦屋市病院事業損益計算書	9
3	令和3年度芦屋市病院事業剰余金計算書	10
4	令和3年度芦屋市病院事業欠損金処理計算書	11
5	令和3年度芦屋市病院事業貸借対照表	12
6	附属諸表	14
(1)	令和3年度芦屋市病院事業キャッシュ・フロー計算書	14
(2)	収益費用明細書	15
(3)	有形固定資産明細書	20
(4)	企業債明細書	20
(5)	基金運用状況調書	21
7	注 記	22

II 事業報告書

1	概 況	27
(1)	総括事項	27
(2)	経営指標に関する事項	29
(3)	議会議決事項	30
(4)	行政官庁許可事項	30
(5)	給与	30
(6)	職員に関する事項	31
2	工事及び器械備品取得に関する事項	32
(1)	器械備品の取得	32
3	業 務	34
(1)	業務量	34
(2)	事業収益費用に関する事項	35
4	会 計	36
(1)	企業債及び借入金の概況	36
5	その他	37
(1)	他会計補助金等の使途について	37
6	関係図表	38
(1)	入院患者数の推移	38
(2)	外来患者数の推移	38

I 決 算 書 等

1 令和3年度芦屋市病院事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

区分	予 算 額			決算額	予算額に 比へ決算 額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	合 計			
第1款 病院事業収益	円 5,677,933,000	円 328,965,000	円 6,006,898,000	円 5,989,829,869	円 △ 17,068,131	円 うち、仮受消費税及び地方消費税
第1項 営業収益	5,300,611,000	△ 373,829,000	4,926,782,000	4,894,608,218	△ 32,173,782	36,047,787
第2項 営業外収益	376,322,000	702,794,000	1,079,116,000	1,095,178,560	16,062,560	5,975,269
第3項 特別利益	1,000,000		1,000,000	43,091	△ 956,909	0

支 出

区分	予 算 額						決算額	地方公 営企業 法第26 条第2項 の規定 による 繰越額	不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	予備費 支出額	流用 増減 額	地方公 営企業 法第24 条第3項 の規定 による 支出額	地方公 営企業 法第26 条第2項 の規定 による 繰越額				
第1款 病院事業費用	円 5,833,193,000	円 120,059,000	円	円	円	円 5,953,252,000	円 5,763,402,613	円 うち、仮払消費税及び 地方消費税	円 189,849,387	円 183,923
第1項 営業費用	5,616,470,000	△ 1,704,000			5,614,766,000	5,614,766,000	5,501,079,331	134,838,940	113,686,669	183,923
第2項 営業外費用	156,723,000	695,000			157,418,000	157,418,000	113,619,207	消費税等納付額 25,110,000	43,798,793	183,923
第3項 特別損失	30,000,000	121,068,000			151,068,000	151,068,000	148,704,075		2,363,925	178,974
第4項 予備費	30,000,000				30,000,000	30,000,000	0		30,000,000	

たな卸資産の購入限度額（予算第9条）執行に伴う仮払消費税及び地方消費税 41,675,129円

(2) 資本的収入及び支出

区分	予算額					合計	決算額	予算額に 比べ決算 額の増減	備考
	当初予算額	補正予算額	小計	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額に係る 財源充当額	継続費 繰越額に係る 財源充当額				
第1款 資本的収入	円		円	円	円	円	円	円	
第1項 企業債	295,468,000	34,064,000	329,532,000			329,532,000	312,978,110	△16,553,890	
第2項 出資金	84,400,000	△ 1,750,000	82,650,000	4,200,000		82,650,000	67,900,000	△14,750,000	
第3項 補助金	211,068,000		211,068,000			211,068,000	211,068,000	0	
第4項 寄附金		17,184,000	17,184,000			17,184,000	17,184,110	110	
第5項 基金繰入金		1,000,000	1,000,000			1,000,000	1,000,000	0	
第6項 固定資産売却代金		17,630,000	17,630,000			17,630,000	15,738,000	△1,892,000	
						0	88,000	88,000	

支出

区分	予算額					決算額	翌年度繰越額		不用額	備考
	当初予算額	補正予算額	流用 増減 額	小計	地方公営企業 法第26条 の規定に よる繰 越額		継続 費 繰 越 額	地方公 営企 業法 第26 条の 規定 によ る繰 越額		
第1款 資本的支出	円		円	円	円	円	円	円	円	
第1項 建設改良費	908,026,000	34,065,000		942,091,000		942,091,000	915,696,901	26,394,099		
第2項 企業債償還金	89,492,000	26,444,000		115,936,000	4,275,000	115,936,000	95,542,508	20,393,492		うち、仮払消費税及び 地方消費税 8,685,682
第3項 他会計からの長期借入金償還金	417,134,000	1,000		417,135,000		417,135,000	417,134,393	607		
第4項 投資	395,400,000			395,400,000		395,400,000	395,400,000	0		
第5項 基金造成費	6,000,000			6,000,000		6,000,000	6,000,000	6,000,000		
		7,620,000		7,620,000		7,620,000	7,620,000	0		

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 602,718,791 円は、過年度分損益勘定留保資金 594,033,109 円及び当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 8,685,682 円で補填した。

2 令和3年度芦屋市病院事業損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位 円)

1 営業収益			
(1) 入院収益	2,985,329,944		
(2) 外来収益	1,235,314,712		
(3) その他営業収益	637,915,775	4,858,560,431	
2 営業費用			
(1) 給与費	3,193,506,868		
(2) 材料費	938,005,312		
(3) 経費	822,312,079		
(4) 減価償却費	403,899,475		
(5) 資産減耗費	3,088,197		
(6) 研究研修費	5,428,460	5,366,240,391	
営業損失			507,679,960
3 営業外収益			
(1) 受取利息	7,021		
(2) 他会計負担金・補助金	296,145,000		
(3) 補助金	719,219,720		
(4) 患者外給食収益	0		
(5) 長期前受金戻入	8,609,163		
(6) その他営業外収益	65,369,356	1,089,350,260	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	86,486,071		
(2) 患者外給食材料費	1,839,213		
(3) 雑損失	166,405,460	254,730,744	834,619,516
経常利益			326,939,556
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	43,091		
(2) その他特別利益	0	43,091	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	148,525,101		
(2) その他特別損失	0	148,525,101	△ 148,482,010
当年度純利益			178,457,546
前年度繰越欠損金			11,904,521,510
当年度未処理欠損金			<u>11,726,063,964</u>

3 令和3年度芦屋市病院事業剰余金計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位 円)

	資本金	剰余金				資本合計
	自己資本金	資本剰余金	利益剰余金			
		受贈資産寄附金	その他利益剰余金	未処理欠損金	利益剰余金合計	
前年度末残高	7,849,276,307	14,800,000		11,904,521,510	△ 11,904,521,510	△ 4,040,445,203
前年度処分類						
議会の議決による処分類						
処分後残高	7,849,276,307	14,800,000		(繰越欠損金) 11,904,521,510	△ 11,904,521,510	△ 4,040,445,203
当年度変動額	211,068,000			△ 178,457,546	178,457,546	389,525,546
出資の受入	211,068,000					211,068,000
当年度純利益				△ 178,457,546	178,457,546	178,457,546
当年度末残高	8,060,344,307	14,800,000		(当年度未処理欠損金) 11,726,063,964	△ 11,726,063,964	△ 3,650,919,657

4 令和3年度芦屋市病院事業欠損金処理計算書

(単位 円)

	資本金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	8,060,344,307	14,800,000	11,726,063,964
議会の議決による処分額			
処分後残高	8,060,344,307	14,800,000	(繰越欠損金) 11,726,063,964

5 令和3年度芦屋市病院事業貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部		
1 固 定 資 産		
(1) 有形固定資産		
ア 土 地	41,192,671	
イ 建 物	8,097,253,750	
減価償却累計額	<u>△4,543,178,981</u>	3,554,074,769
ウ 器 械 備 品	2,266,399,744	
減価償却累計額	<u>△1,566,109,614</u>	700,290,130
エ 車 両	212,963	
減価償却累計額	<u>△172,011</u>	<u>40,952</u>
有形固定資産合計		4,295,598,522
(2) 投 資		
ア 長 期 貸 付 金	6,616,498	
イ 基 金	<u>38,801,753</u>	
投資合計		<u>45,418,251</u>
固定資産合計		4,341,016,773
2 流 動 資 産		
(1) 現 金 ・ 預 金		318,642,457
(2) 未 収 金	891,071,460	
貸倒引当金	<u>△10,707,209</u>	880,364,251
(3) 貯 蔵 品		<u>28,855</u>
流動資産合計		<u>1,199,035,563</u>
資産合計		<u><u>5,540,052,336</u></u>

負債の部

3 固定負債

(1) 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	5,255,827,535	
(2) 他会計借入金	1,618,200,000	
(3) 退職給付引当金	<u>885,459,326</u>	
固定負債合計		7,759,486,861

4 流動負債

(1) 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	431,399,659	
(2) 他会計借入金	377,810,000	
(3) 未払金	360,455,335	
(4) 賞与引当金	154,886,189	
(5) その他流動負債	<u>28,593,618</u>	
流動負債合計		1,353,144,801

5 繰延収益

(1) 長期前受金	123,883,482	
長期前受金収益化累計額	<u>△45,543,151</u>	
繰延収益合計		<u>78,340,331</u>
負債合計		9,190,971,993

資本の部

6 資本金 8,060,344,307

7 剰余金

(1) 資本剰余金		
ア 受贈資産寄附金	<u>14,800,000</u>	
資本剰余金合計		14,800,000
(2) 利益剰余金		
ア 当年度未処理欠損金	<u>11,726,063,964</u>	
利益剰余金合計	<u>△11,726,063,964</u>	
剰余金合計		<u>△11,711,263,964</u>
資本合計		<u>△3,650,919,657</u>
負債資本合計		<u>5,540,052,336</u>

6 附属諸表

(1) 令和3年度芦屋市病院事業キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	円
当年度純利益	178,457,546
減価償却費	403,899,475
引当金の増減額 (△は減少)	△ 5,682,691
長期前受金戻入額	△ 8,609,163
受取利息及び受取配当金	△ 7,021
支払利息	86,486,071
未収金の増減額 (△は増加)	△ 180,779,051
未払金の増減額 (△は減少)	△ 9,401,318
預り金の増減額 (△は減少)	4,560,709
その他	<u>4,697,096</u>
小計	473,621,653
利息及び配当金の受取額	7,021
利息の支払額	<u>△ 86,486,071</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	387,142,603
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 86,856,826
有形固定資産の売却による収入	88,000
国庫補助金等による収入	1,750,110
貸付けによる支出及び投資返還金	0
他会計からの補助金による収入	15,434,000
寄附による収入	1,000,000
基金の積み立てによる支出	△ 7,620,000
基金の取り崩しによる収入	<u>15,738,000</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 60,466,716
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	67,900,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 417,134,393
その他の他会計借入金による収入	0
その他の他会計借入金の返済による支出	△ 395,400,000
他会計からの出資による収入	<u>211,068,000</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 533,566,393
資金増加額 (又は減少額)	△ 206,890,506
資金期首残高	<u>525,532,963</u>
資金期末残高	<u><u>318,642,457</u></u>

(2) 収益費用明細書

収 益 明 細 書

款	項	目	節	金 額 (円)	備 考
病院事業収益				5,947,953,782	
	営業収益			4,858,560,431	
		入院収益		2,985,329,944	
			入院収益	2,985,329,944	
		外来収益		1,235,314,712	
			外来収益	1,235,314,712	
		その他営業収益		637,915,775	
			室料差額収益	185,601,200	
			公衆衛生 活動収益	45,829,085	
			医療相談収益	63,038,731	
			一般会計 負担金・補助金	283,191,000	
			その他営業収益	60,255,759	
	営業外収益			1,089,350,260	
		受取利息		7,021	
			預金利息	6,084	
			基金利息	937	
		他会計 負担金・補助金		296,145,000	
			一般会計負担金	150,953,000	
			一般会計補助金	145,192,000	
		補助金		719,219,720	
			国庫補助金	690,108,720	
			県補助金	29,111,000	
		患者外給食収益		0	
			患者外給食収益	0	
		長期前受金戻入		8,609,163	
			長期前受金戻入	8,609,163	
		その他営業外収益		65,369,356	
			その他営業外収益	65,369,356	

款	項	目	節	金額(円)	備考
	特別利益			43,091	
		過年度 損益修正益		43,091	
			過年度 損益修正益	43,091	
		その他特別利益		0	
			その他特別利益	0	

費用明細書

款	項	目	節	金額 (円)	備考
病院事業費用				5,769,496,236	
	営業費用			5,366,240,391	
		給与費		3,193,506,868	予算額 3,219,271,000円
			給料	944,321,018	
			手当	954,210,367	
			賞与引当金繰入額	154,886,189	
			報酬	618,415,226	
			法定福利費	411,485,643	
			退職給付費	110,188,425	
		材料費		938,005,312	
			薬品費	553,112,634	
			診療材料費	347,541,281	
			給食材料費	34,720,902	
			医療消耗備品費	2,630,495	
		経費		822,312,079	
			厚生福利費	7,789,153	
			報償費	191,865	
			旅費交通費	85,063	
			職員被服費	376,130	
			消耗品費	22,625,370	
			消耗備品費	1,811,280	
			光熱水費	80,422,156	
			燃料費	108,814	
			食料費	13,141	
			印刷製本費	3,490,537	
			修繕費	23,203,826	
			保険料	7,279,612	

款	項	目	節	金額(円)	備考
			借料・損料	59,947,600	
			通信運搬費	8,511,701	
			委託料	589,634,865	
			諸会費	4,324,470	
			雑費	10,979,527	
			交際費	27,510	予算額 60,000円
			補償及び賠償金	0	
			貸倒引当金繰入額	1,489,459	
		減価償却費		403,899,475	
			建物減価償却費	245,636,007	
			器械備品 減価償却費	158,263,468	
			車 減価償却費	0	
		資産減耗費		3,088,197	
			棚卸資産減耗費	0	
			固定資産除却費	3,088,197	
		研究研修費		5,428,460	
			謝金	334,107	
			図書費	1,905,111	
			旅費	448,364	
			研究雑費	2,740,878	
	営業外費用			254,730,744	
		支払利息及び 企業債取扱諸費		86,486,071	
			企業債利息	86,008,071	
			長期借入金利息	478,000	
			一時借入金利息	0	
		患者外給食材料費		1,839,213	
			患者外給食材料費	1,839,213	
		雑損失		166,405,460	
			その他雑損失	166,405,460	

款	項	目	節	金額 (円)	備考
	特別損失			148,525,101	
		過年度 損益修正損		148,525,101	
			過年度 損益修正損	148,525,101	
		その他特別損失		0	
			その他特別損失	0	

(3) 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初 の現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	年度末 現在高	減価償却累計額			年度末償 却未済高
					当年度増加額	当年度減少額	累 計	
土 地	円 41,192,671	円	円	円 41,192,671	円	円	円	円 41,192,671
建 物	8,097,253,750			8,097,253,750	245,636,007		4,543,178,981	3,554,074,769
器 械 備 品	2,242,569,256	86,856,826	63,026,338	2,266,399,744	158,263,468	59,850,141	1,566,109,614	700,290,130
車 両	212,963			212,963			172,011	40,952
合 計	10,381,228,640	86,856,826	63,026,338	10,405,059,128	403,899,475	59,850,141	6,109,460,606	4,295,598,522

(4) 企業債明細書

(単位 円, %)

種 類	発 行 年月日	発行総額	償 還 高		未償還残高	発行 価額	利率	償還 終期	備 考
			当年度償還高	償還高累計					
H21年度 機構債	H22. 3. 30	96,800,000	3,377,403	22,225,011	74,574,989	—	2.10	R22.3	地方公共団体金融機 構
H22年度 機構債	H23. 2. 24	972,300,000	34,075,927	210,398,749	761,901,251	—	1.90	R22.9	地方公共団体金融機 構
H23年度 機構債	H24. 1. 26	557,700,000	19,502,539	103,291,350	454,408,650	—	1.70	R23.9	地方公共団体金融機 構
H23年度 機構債	H24. 1. 26	702,300,000	24,559,141	130,072,645	572,227,355	—	1.70	R23.9	地方公共団体金融機 構
H24年度 機構債	H24. 8. 8	1,797,700,000	62,884,669	304,637,207	1,493,062,793	—	1.60	R24.3	地方公共団体金融機 構
H24年度 機構債	H24. 9. 27	360,000,000	12,493,081	54,683,795	305,316,205	—	1.60	R24.9	地方公共団体金融機 構
H24年度 機構債	H25. 3. 28	1,533,900,000	53,324,560	208,599,241	1,325,300,759	—	1.50	R25.3	地方公共団体金融機 構
H27年度 機構債	H28. 3. 30	60,600,000	2,281,528	2,281,528	58,318,472	—	0.50	R28.3	地方公共団体金融機 構
H27年度 機構債	H28. 3. 30	29,100,000	3,635,673	14,520,908	14,579,092	—	0.10	R8.3	地方公共団体金融機 構
H28年度 銀行債	H29. 3. 27	81,800,000	20,450,000	81,800,000	0	—	0.135	R4.3	銀行等引受債資金
H29年度 銀行債	H30. 3. 30	5,100,000	637,500	1,275,000	3,825,000	—	0.32	R10.3	銀行等引受債資金
H29年度 銀行債	H30. 3. 30	42,400,000	10,600,000	31,800,000	10,600,000	—	0.222	R5.3	銀行等引受債資金
H30年度 銀行債	H31. 3. 29	129,600,000	32,400,000	64,800,000	64,800,000	—	0.133	R6.3	銀行等引受債資金
H30年度 銀行債	H31. 3. 29	257,100,000	64,275,000	128,550,000	128,550,000	—	0.133	R6.3	銀行等引受債資金
R1年度 機構債	R2. 2. 27	18,200,000	1,137,372	1,137,372	17,062,628	—	0.003	R11.9	地方公共団体金融機 構
R1年度 銀行債	R2. 3. 18	286,000,000	71,500,000	71,500,000	214,500,000	—	0.12	R7.3	銀行等引受債資金
R2年度 銀行債	R3. 3. 30	120,300,000			120,300,000	—	0.152	R8.3	銀行等引受債資金
R3年度 銀行債	R4. 3. 30	67,900,000			67,900,000	—	0.190	R9.3	銀行等引受債資金
合 計		7,118,800,000	417,134,393	1,431,572,806	5,687,227,194				

(5) 基金運用状況調書

基金名	区分	前年度末在高	当年度造成額 (積立額)	当年度運用状況		当年度処分額 (取崩額)	当年度末在高	備考
				増加額	減少額			
芦屋市病院 事業基金	預金	円 46,919,753	円 7,620,000	円	円	円 15,738,000	円 38,801,753	
	病院事業 へ貸付							
合計		46,919,753	7,620,000			15,738,000	38,801,753	

7 注 記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産（リース資産を除く。）

(7) 減価償却の方法

定額法

(4) 主な耐用年数

建物	15年～39年
器械備品	2年～15年

(2) 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、他会計が負担すると見込まれる金額を除き、病院事業会計が負担すると見込まれる金額を計上している。

イ 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

また、職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費相当額について、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を賞与引当金に含めて計上している。

ウ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(3) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 貸借対照表等関連

(1) 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は2,843,614千円である。

3 セグメントの情報の開示

芦屋市病院事業では、病院事業の単一セグメントであるため、記載を省略している。

4 減損損失

(1) グルーピングの方法

病院事業に使用している固定資産については、すべての資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、全体を1つの資産グループとしている。

(2) 減損の兆候について

当年度において、以下の資産グループについて減損の兆候を認識した。

用途	資産の種類	所在地
病院事業	土地、建物、器械備品、車両	芦屋市朝日ヶ丘町

病院事業の業務活動から生じる損益が継続してマイナスとなる状況であるため、減損の兆候が生じている。

なお、割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を上回るため、減損損失を認識していない。

5 リース契約により使用する固定資産

(1) リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

(2) リース会計に係る経過措置

リース取引開始日が平成26年3月31日以前のリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年内	2,270千円
1年超	5,109千円
<hr/>	
計	7,379千円

6 引当金の取崩し

(1) 退職給付引当金

当年度において、退職手当として86,910,302円を支給するため、退職給付引当金を取り崩している。

(2) 貸倒引当金

当年度において、権利放棄した債権として、貸倒引当金341,638円を取り崩している。

Ⅱ 事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

「市立芦屋病院新改革プラン（平成29年度～令和3年度）」の最終年度を迎え、本年度も目標達成に向け取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大は収束する気配を見せず、病院経営にとって厳しい状況が続きました。

国内で初めて陽性者が確認されてから2年余り、当院は新型コロナウイルス感染症のパンデミックから市民の命と健康を守るため、公立病院として求められる役割を果たしてまいりました。

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症患者を専用病棟にて受入れており、令和3年4月からは「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」の指定を受け、受入病床を10床まで拡充しました。

また、新型コロナワクチン接種については、4月から当院の職員や委託事業の従事者等に接種を行いました。さらに、早期の高齢者ワクチン接種完了を達成するため、病棟地下1階駐車場に接種会場を設置し、5月から8月の約3ヶ月間で、延べ8,292回接種を行い、8月以降は医療機関を通じて当院に紹介のあった基礎疾患のある患者への接種を継続して実施しました。

面会制限や各種教室及びイベントの中止が長期化していたため、入院・外来患者に対する患者サービスの向上を目的に、令和4年度の運用開始に向け、ひょうご地方創生交付金及び基金を活用し、病棟及び外来にWi-Fiを整備しました。

診療機能の充実では、令和3年4月より高齢リハビリ外来を立ち上げ、リハビリテーション科においてフレイル予防・改善を目的とした運動指導を実施したほか、新たにリウマチ内科外来を新設しました。8月には、日本医療機能評価機構による病院機能評価訪問審査と併せて副機能審査として緩和ケア病棟の訪問審査を受審し、11月に3rdG：Ver2.0の認定を更新しました。

業務運営コストの削減では、ジェネリック医薬品の使用率について、国が令和3年6月の閣議決定において「後発医薬品の品質及び安定供給の信頼性確保を図りつつ、2023年度末までに全ての都道府県で80%以上」と掲げた目標値を大きく上回りました。さらに、医療機器等の備品購入費、診療材料や薬品などの材料費等についても、積極的な価格交渉等を実施し、納入価格の削減に努めました。

その結果、本年度も新型コロナウイルス感染症の拡大の影響は免れないものの、入院・外来患者数の増加及び新型コロナウイルス感染症関連補助金により、純損益は黒字となりました。

また、本年度は「市立芦屋病院新改革プラン」の次期計画である「市立芦屋病院新中期経営計画（令和4年度～令和8年度）」を策定しました。

本計画では、当院の基礎となるがん診療、救急医療、生活習慣病などの診療機能の充実を目指すとともに、質の高い安心・安全な医療を提供できるよう、優れた医療従事者の育成・確保、地域医療機関との連携強化に努めることを定めています。加えて、今回のパンデミックを教訓に、今後発生しうる新たな感染症等に備え公立病院としての責務を果たせる体制づくりを目指してまいります。

(患者数の動向)

入院患者数は、延べ 55,674 人(1 日平均 152.5 人)と、前年度の 54,869 人(1 日平均 150.3 人)に比べ 805 人の増加、病床稼働率は、76.6%と前年度の 75.5%に比べ 1.1 ポイント増加となりました。

外来患者数は、74,442 人(1 日平均 307.6 人)で、前年度の 69,650 人(1 日平均 286.6 人)に比べ 4,792 人の増加となりました。

(経営状況)

総収益は、5,947,954 千円で前年度より 181,522 千円増加しました。これは、入院・外来患者数及び診療単価がともに増加したことにより、営業収益は増加したものの、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響から厳しい資金状況となり、市から資金手当を受けたため、今年度は営業外収益が減少したことが主な要因です。

総費用は、5,769,496 千円で前年度より 315,443 千円増加しました。研修医等の増加による給与費の増加、難治性疾患患者に対する高額薬品の使用量増加による材料費の増加が主な要因です。

その結果、今年度収支は 178,458 千円の純利益となり、当年度未処理欠損金は 11,726,063 千円となりました。

(その他)

本年度は、内視鏡システム装置、自動採血管準備装置、汎用超音波画像診断装置、感染管理システムの更新など医療機器・備品の充実を図りました。

(2) 経営指標に関する事項

令和3年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、他会計補助金の減少により前年度比0.4ポイント減の105.8%となりました。また、経営の収益性を示す修正医業収支比率は、入院・外来患者数の増加により前年度比2.8ポイント増の85.3%となりましたが、依然として事業に必要な費用を病院の本業である医業活動から得られる医業収益で賄っている状況とされる100%を下回っています。

一方、病院の施設が有効に活用されているかを示す病床利用率は、前年度比1.1ポイント増の76.6%となりました。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症患者を専用病棟にて受入れていることに伴い、空床病床が発生しているため稼働病床数に制限がありますが、救急受入体制等の拡充を図り、病床利用率向上への取組を実施してまいります。

<経営指標の推移>

	H29	H30	R1	R2	R3
経常収支比率	92.0%	97.3%	99.2%	106.2%	105.8%
修正医業収支比率	83.9%	88.8%	91.0%	82.5%	85.3%
病床利用率	86.1%	90.9%	87.2%	75.5%	76.6%

【経常収支比率】

医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、病院活動による収益状況を示す指標
算出式＝（経常収益）／（経常費用）＊100

【修正医業収支比率】

病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標
算出式＝（医業収益－他会計負担金）／（医業費用）＊100

【病床利用率】

年延病床数に対する年延入院患者数の割合を表し、病院の施設が有効に活用されているかを示す指標
算出式＝（年延入院患者数／年延病床数）＊100

※年延入院患者数とは、24時現在の在院患者数と当日の退院患者数を加えたものである。

(3) 議会議決事項

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日	備考
65	令和2年度芦屋市病院事業会計決算の認定について	R3.9.8	R3.10.8	
74	令和3年度芦屋市病院事業会計補正予算(第1号)	R3.11.30	R3.12.21	
7	令和3年度芦屋市病院事業会計補正予算(第2号)	R4.2.15	R4.2.28	
11	芦屋市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	R4.2.15	R4.3.22	
16	芦屋市病院企業職員貸付金条例の一部を改正する条例の制定について	R4.2.15	R4.3.22	
28	令和4年度芦屋市病院事業会計予算	R4.2.15	R4.3.22	

(4) 行政官庁許可事項

申請年月日	申請先	件名	許可(同意)年月日
令和3年7月9日	兵庫県知事	令和3年度起債協議 (医療機器・設備整備事業)	兵庫県指令市振第2379号の6 令和3年8月17日

(5) 給与

職種別状況 (R3.4.1)

種目		平均額
給料月額	医師職 (36人)	526,414 円
	医療技術職 (39人)	292,700
	看護職 (149人)	298,620
	事務職 (17人)	268,210
	全職員 (241人)	329,544
扶養手当		6,929
地域手当		53,931
小計		390,404
住居手当		12,481
通勤手当		9,611
合計		412,496

(6) 職員に関する事項

職員配置表 (R4.3.31)

(単位 人)

所 属		職 種		医 師 職	薬 劑 職	医 療 技 術 職	栄 養 職	看 護 職	医 療 専 門 事 務 職	一 般 事 務 職	合 計
		内 科	外 科								
事業管理者				1							1
診 療 局 ・ 看 護 局	内 科	20				1					21
	外 科	5									5
	整形外科	3									3
	産婦人科	3									3
	小児科	2									2
	眼 科					1					1
	耳鼻いんこう科										
	放射線科	1				5					6
	麻 酔 科	2									2
	リハビリテーション科	1				9					10
	臨床検査科					8					8
	薬 劑 科					9					9
	栄養管理室						2				2
	中央材料・手術室							8			8
病 棟								122		122	
そ の 他								11		11	
小 計		37	9	24	2	141					213
事 務 局	総 務 課							6	3		9
	医 事 課							4			4
	経営企画室										
	小 計							10	3		13
地域連携室								7	2		9
医療安全推進室						3					3
感染防止対策室								1			1
合 計		38	9	27	2	149	12	3			240

2 工事及び器械備品取得に関する事項

(1) 器械備品の取得

(単位 円)

No.	機 器 名	所 属	数量	取得価額	消費税	所属合計
1	汎用診察・処置台	消 化 器 内 科	3	1,520,000	152,000	16,125,900
2	内視鏡システム装置一式	消 化 器 内 科	1	13,000,000	1,300,000	
3	超音波洗浄器	消 化 器 内 科	1	139,909	13,991	
4	汎用超音波画像診断装置	産 婦 人 科	1	1,800,000	180,000	4,788,450
5	コルポスコープ	産 婦 人 科	1	2,553,137	255,313	
6	額帯灯 (フライトヘルメット)	整 形 外 科	4	957,680	95,768	1,053,448
7	ビデオ硬性挿管用咽頭鏡	麻 酔 科	1	164,000	16,400	873,400
8	注射筒輸液ポンプコントロールユニット	麻 酔 科	2	630,000	63,000	
9	眼底カメラ用システム	眼 科	1	3,530,000	353,000	3,883,000
10	ビデオ鼻咽喉スコープシステム	耳 鼻 い ん こ う 科	1	3,135,000	313,500	3,448,500
11	内視鏡用ビデオカメラ	中央材料・手術室	1	2,385,000	238,500	4,631,275
12	内視鏡用テレスコープ (硬性膀胱尿道鏡)	中央材料・手術室	2	650,000	65,000	
13	内視鏡用テレスコープ (硬性腹腔鏡)	中央材料・手術室	2	660,000	66,000	
14	ライトガイドケーブル	中央材料・手術室	2	224,000	22,400	
15	持針器	中央材料・手術室	2	291,250	29,125	
16	自動採血管準備装置等一式	臨 床 検 査 科	1	4,500,000	450,000	14,929,970
17	検体前処置装置	臨 床 検 査 科	1	1,592,700	159,270	
18	卓上遠心機	臨 床 検 査 科	1	460,000	46,000	
19	薬用冷蔵ショーケース	臨 床 検 査 科	1	680,000	68,000	
20	汎用超音波画像診断装置	臨 床 検 査 科	1	4,540,000	454,000	
21	血圧脈波検査装置	臨 床 検 査 科	1	1,800,000	180,000	
22	スチームコンベクションオープン	栄 養 管 理 室	1	1,241,000	124,100	1,365,100
23	ベッドサイドモニタ等一式	M E 室	1	1,099,000	109,900	7,012,775
24	汎用輸液ポンプ	M E 室	11	1,760,000	176,000	
25	逐次型空気圧式マッサージ器	M E 室	2	181,800	18,180	
26	ME機器管理システム構築業務	M E 室	1	1,278,000	127,800	
27	患者管理無疼痛法用輸液ポンプ	M E 室	1	226,600	22,660	
28	36kHzストレートハンドピース	M E 室	1	909,000	90,900	
29	注射筒輸液ポンプ	M E 室	3	409,500	40,950	
30	テレメントリー式心電送信機	M E 室	5	511,350	51,135	

No.	機 器 名	所 属	数量	取得価額	消費税	所属合計
31	感染管理システム更新業務	感 染 防 止 対 策 室	1	3,620,000	362,000	4,367,660
32	HEPAフィルター付パーテーション	感 染 防 止 対 策 室	2	350,600	35,060	
33	ベッドパンウォッシャー	病 棟	1	1,320,000	132,000	1,452,000
34	カラープリンター	人 間 ド ッ ク セ ン タ ー	1	148,500	14,850	163,350
35	情報ネットワーク更新業務 (Wi-Fi整備事業)	医 事 課	1	19,899,000	1,989,900	30,771,180
36	Wi-Fi整備事業用端末	医 事 課	30	2,421,000	242,100	
37	電子カルテ用端末	医 事 課	35	3,009,700	300,970	
38	院外ネットワーク用端末	医 事 課	15	1,582,500	158,250	
39	モノクロプリンター	医 事 課	24	1,061,600	106,160	
40	院内PHS端末	総 務 課	15	615,000	61,500	676,500
	合 計		182	86,856,826	8,685,682	95,542,508

3 業務

(1) 業務量

ア 入院患者数

(単位 人)

診療科目 内 訳	内 科	外 科	整形外科	産婦人科	小 児 科	眼 科	耳鼻いんこう科	合 計
延べ患者数	40,117	5,483	7,058	2,139	595	282	0	55,674
1日平均患者数	109.9	15.0	19.3	5.9	1.6	0.8	0.0	152.5

病床稼働率 76.6%(199床)

イ 外来患者数

(単位 人)

診療科目 内 訳	内 科	外 科	整形外科	産婦人科	小 児 科	眼 科	耳鼻いんこう科	合 計
延べ患者数	34,414	13,321	8,918	6,665	4,278	4,415	2,431	74,442
1日平均患者数	142.2	55.1	36.9	27.5	17.7	18.2	10.0	307.6

外来診療日数 242日

ウ 手術件数

(単位 件)

内 科	外 科	整形外科	産婦人科	小 児 科	眼 科	耳鼻いんこう科	合 計
607	736	233	534	1	198	12	2,321

エ 調剤件数

(単位 件)

区 分	処方箋数	調剤総件数	1日平均調剤件数	薬剤管理指導件数
入院患者	40,059	64,094	264.9	5,756
外来患者	2,713	6,240	25.8	

オ 検査件数

(単位 件)

尿・糞便	血 液	生化学・免疫	病理組織	生 理	そ の 他	合 計
49,688	88,714	597,163	5,106	14,609	9,665	764,945

カ 放射線件数,超音波断層件数及び骨密度測定件数

(単位 件)

単純撮影	造影撮影	小 計	CT	MR I	DEXA	合 計
22,271	456	22,727	9,512	3,609	1,466	37,314

キ 給食件数

(単位 件)

常 食	軟 食	胃潰瘍食	肝・腎臓食	脾・心臓食	糖尿病食	経管栄養食	流動食	合 計	栄養指導
33,747	41,650	17,425	2,399	12,467	10,683	6,927	1,994	127,292	853

(2) 事業収益費用に関する事項

収益費用対比表

収 益			費 用			費用 総収益 ×100%
科 目	金 額(円)	構成比 (%)	科 目	金 額(円)	構成比 (%)	
営業収益	4,858,560,431	81.7	営業費用	5,366,240,391	93.0	90.2
入院収益	2,985,329,944	50.2	給与費	3,193,506,868	55.3	53.7
外来収益	1,235,314,712	20.8	材料費	938,005,312	16.3	15.8
その他 営業収益	637,915,775	10.7	経費	822,312,079	14.2	13.8
			減価償却費	403,899,475	7.0	6.8
			資産減耗費	3,088,197	0.1	0.0
			研究研修費	5,428,460	0.1	0.1
営業外収益	1,089,350,260	18.3	営業外費用	254,730,744	4.4	4.3
受取利息	7,021	0.0	支払利息及び 企業債取扱諸費	86,486,071	1.5	1.5
他会計負担金 補助金	296,145,000	5.0	患者外給食 材料費	1,839,213	0.0	0.0
補助金	719,219,720	12.1	雑損失	166,405,460	2.9	2.8
患者外 給食収益	0	0.0				
長期前受金 戻入	8,609,163	0.1				
その他 営業外収益	65,369,356	1.1				
特別利益	43,091	0.0	特別損失	148,525,101	2.6	2.5
過年度 損益修正益	43,091	0.0	過年度 損益修正損	148,525,101	2.6	2.5
その他 特別利益	0	0.0	その他 特別損失	0	0	0.0
収益合計	5,947,953,782	100.0	費用合計	5,769,496,236	100.0	97.0

4 会 計

(1) 企業債及び借入金の概況

企 業 債

前年度末残高	6,036,461,587 円
当年度借入金	67,900,000 円
当年度償還高	417,134,393 円
当年度末残高	5,687,227,194 円

一時借入金

前年度末残高	0 円
当年度借入金	0 円
当年度返済高	0 円
当年度末残高	0 円

長期借入金

前年度末残高	2,391,410,000 円
当年度借入金	0 円
当年度返済高	395,400,000 円
当年度末残高	1,996,010,000 円

5 その他

(1) 他会計補助金等の使途について

- ① 一般会計負担金については、救急医療の確保に要する経費として職員給与費等に 266,882,000 円（特定収入以外）、保健衛生行政事務に要する経費として委託料及び印刷製本費に 142,413 円（特定収入）、職員給与費等に 16,166,587 円（特定収入以外）、小児医療に要する経費として職員給与費等に 103,851,000 円（特定収入以外）、高度医療に要する経費として診療材料費及び委託料に 1,193,984 円（特定収入）、職員給与費等に 2,904,016 円（特定収入以外）、企業債利息として 43,004,000 円（特定収入以外）、をそれぞれ充当した。
- ② 一般会計補助金については、研究研修費として 6,000,000 円（特定収入）、基礎年金拠出分として職員給与費に 67,208,000 円（特定収入以外）、共済追加費用の負担に要する経費として職員給与費に 23,249,000 円（特定収入以外）、医師確保対策に要する経費として職員給与費に 26,500,000 円（特定収入以外）、院内保育所の運営に要する経費として委託料に 9,047,000 円（特定収入）、病院ネットワークバスに要する経費として委託料等に 3,500,000 円（特定収入）、児童手当に要する経費として職員給与費に 9,688,000 円（特定収入以外）、Wi-Fi 整備事業として建設改良費に 8,814,000 円（特定収入）、あしやふるさと寄附金に 621,519 円（特定収入）、5,998,481 円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。
- ③ 国庫補助金については、臨床研修費等補助金（医師）として職員給与費に 4,103,000 円（特定収入以外）、新人看護職員卒後臨床研修事業補助金として職員給与費等に 315,000 円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。新型コロナウイルス感染症に関連する国庫補助金については、建設改良費及び経費等に 195,176,287 円（特定収入）、職員給与費等に 492,264,543 円（特定収入以外）を充当した。
- ④ 県補助金については、診療材料費等に 194,669 円（特定収入）、職員給与費等に 28,916,331 円（特定収入以外）を充当した。
- ⑤ 資本的収入の寄附金については、93,885 円（特定収入）、906,115 円（特定収入以外）を充当した。

6 関係図表



